

J Aが人気イベントの、新米直売会を開催

出来たての新米を、特価で消費者へ販売



▲J Aの新米を買い求める人の車が列をなす

安全・安心なJ Aの新米を、いち早く消費者へ提供しようと、J Aは10月5日に農産物直売所みようとが館特設会場で、毎年恒例の新米直売会を開催しました。

当日は好天にも恵まれ、開催時間前から購入を待ちわびていた消費者が列を作り、時間を前倒しして販売を開始しました。購入者の車に職員が米袋を運ぶ、ドライブスルー方式で販売し、10袋以上購入していく消費者もいるなど、J A米の人気の高さが伺えました。当日の販売数量は5711袋、来場者は214名で、どちらも前年以上となりました。



超神ネイガーによる、交通安全教室を開催

地元のヒーローが、児童たちに交通ルールを教える



▲超神ネイガーと一緒に横断歩道を渡る

児童たちに楽しく交通ルールを学んでもらおうと、J A共済主催の『超神ネイガー』の交通安全教室が10月7日、能代市の東能代幼稚園で開催されました。

はじめに武田正廣園長が「日暮れも早くなりましたので、道路を通行する際は交通ルールをきちんと守りましょう。」と挨拶。そのあと超神ネイガーたちが交通安全ショーを通じて、①道路には飛び出さないこと。②道路のそばでは絶対遊ばないこと。③横断歩道では右見て左見て、見る・待つ・確かめるの3点の大切さを児童たちに伝えました。



需要期を前に、出荷規格等を確認

白神ねぎの収穫・出荷に向け、秋冬ねぎ目揃会を開催



▲白神ねぎの適期収穫を呼び掛ける山谷部会長

J Aねぎ部会は10月17日、秋冬ねぎの収穫と出荷を目前に控え、出荷規格等を確認する目揃会を開催しました。

生産者やJ A、市場関係者など約50名が参加し、はじめに山谷初男部会長が「首都圏では景気回復により、消費者の購買意欲が上昇している。市場でも白神ねぎを求める声が多いため、この機を逃さず収穫に精を出してほしい。」と挨拶。

市場関係者は「気温低下に伴うねぎの需要期に向け、白神産の高品质ねぎの安定出荷を期待する。」と話し、参加者はブランド強化に向けて、気を引き締めていました。

